



3

サスティナブルな原料を使った
容器包装への取り組み



バイオマスプラスチック製容器のリサイクル

ユニーでは2006年より、卵パック（きらら10個入り）とフルーツケース（店頭販売用とカットフルーツ）にバイオマスプラスチック製容器を使用しています。これは、従来の石油を原料としたPET製容器に比べ、製造・廃棄（焼却処分など）時にCO₂の発生抑制効果があり地球温暖化防止になります。

さらに2007年からは、使用済み容器を店頭回収し、原料リサイクル（ケミカルリサイクル）することを、九州工業大学・北九州エコ・サポーターズ（NPO）、武蔵野化学と一緒に進めています。2008年度には、リサイクルした再生バイオマスプラスチックの製品化を計画しています。



バイオマス利活用フロンティア推進事業の実施

2006年5月に、ユニーの進める「バイオマスプラスチック製容器使用」への取り組みに対し、農林水産省から「バイオマス利活用フロンティア推進事業」として認定されました。この事業は、バイオマスプラスチックを広く一般に認識していただき、利用の促進を主旨として更なる普及に努めるものです。今年度は「バイオマスプラスチック製容器の回収と再生利用」を課題とし、当社が採用するバイオマスプラスチック製容器を店頭にて回収し、再生利用への道筋を立てるべく、引き続き学識経験者、メーカー、消費者代表、物流関係者、商品担当者と「実証委員会」を開いて、今後の利活用を進めていきます。



「バイオマス利活用フロンティア推進事業」の実施

